

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年12月14日

【四半期会計期間】 第54期第3四半期(自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)

【会社名】 株式会社 光・彩

【英訳名】 Kohsai Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 深沢 栄二

【本店の所在の場所】 山梨県甲斐市竜地3049番地

【電話番号】 0551 - 28 - 4181(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部部長 野田 和幸

【最寄りの連絡場所】 山梨県甲斐市竜地3049番地

【電話番号】 0551 - 28 - 4181(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部部長 野田 和幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第53期 第3四半期累計期間	第54期 第3四半期累計期間	第53期
会計期間		自 2019年2月1日 至 2019年10月31日	自 2020年2月1日 至 2020年10月31日	自 2019年2月1日 至 2020年1月31日
売上高	(千円)	2,041,311	1,492,275	2,733,043
経常利益	(千円)	78,193	16,854	106,482
四半期(当期)純利益	(千円)	56,327	7,888	87,977
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	602,150	602,150	602,150
発行済株式総数	(株)	396,000	396,000	396,000
純資産額	(千円)	1,226,626	1,246,897	1,258,672
総資産額	(千円)	1,905,366	2,582,348	2,083,503
1株当たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	150.49	21.08	235.05
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			45.00
自己資本比率	(%)	64.4	48.3	60.4

回次		第53期 第3四半期会計期間	第54期 第3四半期会計期間
会計期間		自 2019年8月1日 至 2019年10月31日	自 2020年8月1日 至 2020年10月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	57.38	74.16

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により3月以降の景気が急速に悪化しましたが、7月以降、日本を含む各国が経済活動の制限を緩めたことにより、内需・外需が上向き、景気は持ち直しの動きがみられます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念に加え、米中貿易摩擦の影響等、不透明な要因も多く、景気回復には厳しい状況が続く見込みです。

当社が属するジュエリー業界におきましては、緊急事態宣言解除後に販売店舗催事販売などが徐々に再開されましたが、イベント開催の動員数縮小や消費行動の自粛傾向により、市場環境はまだまだ厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、業績回復のための各種施策を実施してまいりました。緊急事態宣言後には、ジュエリー事業においては、当社の強みである鍛造技術を活かしたプライダル商品の販売拡大、ジュエリーパーツ事業においては、マスク着用時にも対応したピアス・パーツ等新商品の開発及び受注獲得に注力してまいりました。一方でこれらの施策と並行して、受注量にあわせた就業時間及び休業日の設定による従業員の労働時間短縮、役員報酬の自主返上を含む聖域なきコスト削減、雇用調整助成金の取得及び金融機関からの実質無利息資金の調達による公的資金の活用も実施してまいりました。

以上のような事業活動の結果、第2四半期に取引先の店舗閉鎖及び催事中止により大きく落ち込んだ業績は反転し、当第3四半期累計期間の業績については、売上高1,492百万円（前年同期比26.9%減）、営業損益は16百万円の損失（前年同期比91百万円減）となりました。経常損益につきましては33百万円の雇用調整助成金収入により、第2四半期累計期間の赤字から脱却し、16百万円（前年同期比78.4%減）の黒字、四半期純損益は7百万円（前年同期比86.0%減）の黒字となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ498百万円増の2,582百万円となりました。主な変動は、現預金の増加475百万円、たな卸資産の増加54百万円、受取手形及び売掛金の減少13百万円、有形固定資産の減少22百万円によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ510百万円増の1,335百万円となりました。主な変動は、短期借入金の増加300百万円、金融機関から実質無利息の長期借入金の増加213百万円、支払手形及び買掛金の増加17百万円、未払法人税の減少23百万円等によるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ11百万円減の1,246百万円となりました。主な変動は、四半期純利益7百万円の計上による増加及び配当金の支払16百万円による減少等があったことによるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 従業員数

当第3四半期累計期間において、当社の従業員数は前事業年度末の57名から9名増加し、66名となりました。増加要因としては、社内体制強化及び技術継承のためであります。なお、当社は、ジュエリー事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,584,000
計	1,584,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年12月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	396,000	396,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	396,000	396,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年8月1日～ 2020年10月31日		396		602,150		409,290

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年7月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 21,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 373,200	3,732	
単元未満株式	普通株式 1,100		
発行済株式総数	396,000		
総株主の議決権		3,732	

【自己株式等】

2020年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社光・彩	山梨県甲斐市竜地3049番地	21,700		21,700	5.48
計		21,700		21,700	5.48

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(2020年8月1日から2020年10月31日まで)及び第3四半期累計期間(2020年2月1日から2020年10月31日まで)に係る四半期財務諸表について、監査法人ナカチによる四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	448,907	924,125
受取手形及び売掛金	396,460	383,181
たな卸資産	616,527	671,253
その他	9,768	15,542
貸倒引当金	7	7
流動資産合計	1,471,657	1,994,096
固定資産		
有形固定資産	403,830	381,220
無形固定資産	16,821	17,913
投資その他の資産		
投資有価証券	35,981	32,178
長期未収入金	199,004	199,004
投資不動産	49,429	49,197
繰延税金資産		4,328
その他	105,801	103,431
貸倒引当金	199,022	199,022
投資その他の資産合計	191,195	189,117
固定資産合計	611,846	588,252
資産合計	2,083,503	2,582,348
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	143,291	160,972
短期借入金	480,000	780,000
1年内返済予定の長期借入金	5,800	80,640
未払法人税等	23,611	
賞与引当金		8,394
その他	108,477	104,767
流動負債合計	761,179	1,134,775
固定負債		
長期借入金		138,690
役員退職慰労引当金	27,583	29,233
退職給付引当金	22,635	22,478
その他	13,432	10,272
固定負債合計	63,651	200,674
負債合計	824,830	1,335,450
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	174,184	165,231
自己株式	31,031	31,194
株主資本合計	1,254,592	1,245,476
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,079	1,421
評価・換算差額等合計	4,079	1,421
純資産合計	1,258,672	1,246,897
負債純資産合計	2,083,503	2,582,348



## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年2月1日 至2019年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)
売上高	2,041,311	1,492,275
売上原価	1,633,450	1,243,727
売上総利益	407,861	248,547
販売費及び一般管理費	332,859	264,677
営業利益又は営業損失( )	75,002	16,130
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	490	305
受取地代家賃	3,521	2,814
助成金収入	-	33,003
雑収入	1,992	2,618
営業外収益合計	6,011	38,744
営業外費用		
支払利息	1,706	3,504
不動産賃貸原価	640	515
為替差損	412	1,706
その他	61	33
営業外費用合計	2,820	5,760
経常利益	78,193	16,854
特別利益		
投資不動産売却益	306	
特別利益合計	306	
特別損失		
投資不動産売却損	285	
固定資産除却損	977	
特別損失合計	1,262	
税引前四半期純利益	77,236	16,854
法人税、住民税及び事業税	20,909	8,965
法人税等合計	20,909	8,965
四半期純利益	56,327	7,888

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年10月31日)
当座貸越極度額	1,000,000千円	1,200,000千円
借入実行残高	480,000	780,000
差引額	520,000	420,000

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
減価償却費	29,705千円	34,237千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月25日 定時株主総会	普通株式	14,971	40.0	2019年1月31日	2019年4月26日	利益剰余金

当第3四半期累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月24日 定時株主総会	普通株式	16,842	45.0	2020年1月31日	2020年4月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額	150円49銭	21円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	56,327	7,888
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	56,327	7,888
普通株式の期中平均株式数(株)	374,284	374,237

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年12月14日

株式会社光・彩  
取締役会 御中

### 監査法人ナカチ

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 藤 代 孝 久 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 家 富 義 則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社光・彩の2020年2月1日から2021年1月31日までの第54期事業年度の第3四半期会計期間(2020年8月1日から2020年10月31日まで)及び第3四半期累計期間(2020年2月1日から2020年10月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社光・彩の2020年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。